

県内就職の推進等に関する要請

県内の雇用情勢は、持ち直しが進む中、求人が求職を上回って推移していますが、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に引き続き注意する必要があります。一方、県政最大の課題である人口減少問題を背景に企業の人材不足が一層深刻化していくことが懸念されます。

こうした中で、コロナ禍や急激な物価高騰などにより傷んだ地域経済を力強く再生し、山口県の元気を取り戻していくため、県内産業を担う人材を確保していくことが大きな課題となっています。

こうした状況を踏まえ、山口県と山口労働局では、山口しごとセンターやハローワークにおける相談体制を整え、企業の魅力発信や就職フェアの開催など総合的な支援を実施するとともに、若者をはじめとした県内就職の促進や、働き方改革の推進等による魅力的な職場環境づくり、女性、シニア等の多様な人材の活躍促進に重点的に取り組んでいるところです。

また、継続的に優秀な人材を確保していくためには、企業として人への投資の促進により、構造的な賃上げなどにも取り組む必要があります。国及び県では、様々な助成や融資制度をはじめとした支援制度の充実を図っています。

今後とも、本県産業が持続的に成長・発展し、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、産業界や関係機関と連携し、雇用に関する諸施策に積極的に取り組むこととしています。

つきましては、関係各位におかれましても、次の項目について、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1 新卒予定者等の県内就職・定着の促進

- ・新卒予定者の正社員採用枠の確保
- ・県内の広域への高卒求人の確保・拡大
- ・卒業後3年以内の未就職卒業者の新卒採用枠での応募機会の確保
- ・魅力ある雇用機会の創出
- ・新規採用者の職場定着の促進

2 成長の原動力となる人材の育成・確保

- ・リスクリングや職場環境の改善などの「人への投資」の促進
- ・県の支援制度や国の「人材開発支援助成金」の活用

3 多様な人材の活躍促進

- ・テレワーク等の「新しい働き方」の実践・定着など働き方の改革の更なる推進
- ・女性、シニア、障害者、就職氷河期世代、県外キャリア人材などの新規就業の促進

令和5年5月

山口県知事
厚生労働省山口労働局長
山口県教育委員会教育長

村岡嗣政
名田裕志
繁吉健志